

平成 21 年 5 月 26 日

各 位

東京都文京区本郷二丁目 38 番 18 号
 株式会社 カイノス
 代表取締役社長 中村 利通
 (コード 4 5 5 6)

問い合わせ先
 責任役職者 専務取締役管理本部長
 氏 名 徳 永 孔 志
 T E L (0 3) 3 8 1 6 - 4 1 2 3

シスメックス社と共同開発した腫瘍マーカーを発売

株式会社カイノス(本社:東京都文京区,代表取締役社長:中村利通)は,シスメックス株式会社(本社:神戸市 代表取締役社長:家次 恒、以下「シスメックス」)が販売する全自動免疫測定装置 HISCL-2000i および関連試薬の取扱いを進めると共に,両社で共同開発した腫瘍マーカーを発売いたします。

本年 5 月末に前立腺がんの腫瘍マーカー「HISCL[®] PSA 試薬」を発売し,6 月に肝臓がんの腫瘍マーカー「HISCL[®] AFP 試薬」,および大腸がんなど消化器系がんの腫瘍マーカー「HISCL[®] CEA 試薬」を順次発売いたします。

血液中のたんぱく質などを測定する免疫検査は,感染症,がん,心疾患,自己免疫疾患などの診断や治療経過の観察まで幅広く利用され,疾患の早期発見や治療効果の判定に重要な役割を果たしています。全世界での免疫検査の市場規模は,検体検査市場の約 25%にあたる約 8,200 億円と推定されており,国内では検体検査市場の約 40%に当たる 1,500 億円以上と推測され,さらにがんの早期発見や早期治療に有用な腫瘍マーカーは国内検体検査市場の約 20%に当たる 300 億円を占めるとされています。

当社は 2007 年 10 月にシスメックスと HISCL-2000i 専用の体外診断用医薬品の共同開発契約を締結し,がんの早期発見や早期治療に有用な腫瘍マーカー 5 項目の開発を進めてまいりました。また,2009 年 2 月 1 日付でシスメックスと締結した,HISCL-2000i および関連試薬の国内取引及び販売協力に関する契約に基づき,同年 2 月 23 日よりこれら商品の販売を開始し,免疫分野への取り組みを強化しています。

今後も当社はシスメックスとの共同開発を促進して検査試薬のラインナップを進めると共に,シスメックスと協調して HISCL-2000i および関連試薬の国内普及をはかり,免疫検査のさらなる質の向上・効率化に貢献し,人々のクオリティ・オブ・ライフ(QOL)向上の一助になるよう活動してまいります。

【HISCL-2000i 概要】

名称 : 全自動免疫測定装置 HISCL-2000i

対象市場 : 日本

商品の特徴:

(1)処理能力: 180 テスト/時間

(2)対象施設: 中規模施設から大規模施設(100~300 テスト/患者)

(3)オプション: シスメックス株式会社ネットワークサポート商品 SNCS (Sysmex Network

Communication Systems) に対応し,オンラインでのサポートや外部精度管理サービスの利用が可能

【HISCL 試薬概要】

名 称	HISCL PSA 試薬	HISCL AFP 試薬	HISCL CEA 試薬
対象市場	日本	日本	日本
発売予定時期	5 月末	6 月末	6 月末
包装(1 梱包)	100 テスト	100 テスト	100 テスト

【シスメックス株式会社について】

シスメックス株式会社は、兵庫県神戸市に本社を置き、臨床検査機器、検査用試薬、粒子分析機器ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入を行う企業です。詳しい情報はシスメックス株式会社ホームページ (<http://www.systemex.co.jp/>) をご覧下さい。

[参考]

PSA (前立腺特異抗原): 前立腺組織の腺上皮から特異的に分泌される糖タンパクの一種。がん以外の疾患では、良性前立腺肥大症や急性前立腺炎で高値を示すことがあるが、主に前立腺がんが増加するためそのスクリーニング検査に使用される。

AFP (α-フェトプロテイン): 胎児の血液中にみられる糖タンパクの一種。出生後は消失し健康な人の血液にはほとんど見られないが、肝細胞がん、転移性肝がんなどで高値を示すほか、肝炎や肝硬変でも測定値が上昇する。

CEA (癌胎児性抗原): 胎児の消化器組織だけにみられる糖タンパクの一種。大腸や膵臓、胆嚢、胃、肝臓などのがんにおいて血液中濃度が上昇するため、これら消化器系がんの腫瘍マーカーとして使われている。

[問合せ先]

株式会社カイノス 広報担当: 小林 茂雄

TEL : 03-3816-4123 FAX : 03-3816-6550 EMAIL: kobayashi-s@kainos.co.jp